

第7期【償還】

運用報告書(全体版)

東京海上日動 条件付運用型ファンド11-02

【2018年2月15日償還】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「東京海上日動 条件付運用型ファンド11-02」は、2018年2月15日をもちまして信託約款の規定に基づき、償還となりました。ここに設定以来の運用経過及び償還内容のご報告をいたしますとともに、皆様のご愛顧に対して改めてお礼申し上げます。

今後とも、弊社ファンドに対しまして、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

【ホームページ】

<http://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はおお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／国内／債券／ 特殊型（条件付運用型）
信託期間	2011年2月18日から2018年2月15日までです。
運用方針	主として、高格付（取得時においてAA格相当以上を基本とします。）のユーロ円建て債券に投資し、償還価額が投資元本に最終計算期間の分配相当額を加算した価額となることを目標とします。 投資対象とするユーロ円建て債券は日経平均株価の水準に応じて利金額が決定される仕組みです。
主要投資対象	高格付（取得時においてAA格相当以上を基本とします。）のユーロ円建て債券を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎年2月15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、元本超過額または経費控除後の利子・配当等収益のいずれか多い金額とします。 分配金額は、委託会社が、設定当初に定める目標分配額を参考に、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			受益者 利益回 り	日経平均株価 (225種) (参考指数)		債 組 入 比	券 率	元 残 存 率
		税 分 込 金	期 騰 落 額	中 期 騰 落 率		期 騰 落 率	騰 落 率			
(設定日) 2011年2月18日	円 銭 10,000	円 —	円 銭 —	% —	% —	円 10,836.64	% —	% —	% 100.0	
1期(2012年2月15日)	9,700	98	△202	△2.0	△2.0	9,260.34	△14.5	99.7	100.0	
2期(2013年2月15日)	10,261	113	674	6.9	2.4	11,173.83	20.7	99.6	100.0	
3期(2014年2月17日)	10,291	113	143	1.4	2.1	14,393.11	28.8	99.6	100.0	
4期(2015年2月16日)	10,219	113	41	0.4	1.6	18,004.77	25.1	99.5	100.0	
5期(2016年2月15日)	10,290	113	184	1.8	1.7	16,022.58	△11.0	99.5	100.0	
6期(2017年2月15日)	10,155	113	△ 22	△0.2	1.4	19,437.98	21.3	99.4	100.0	
(償還時) 7期(2018年2月15日)	(償還価額) 10,153.34	—	△ 1.66	△0.0	1.2	21,464.98	10.4	—	100.0	

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落額および騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) 設定日の基準価額は当初設定元本。

(注) 受益者利回りは、設定以来の年率換算利回りです。

(注) 設定日の日経平均株価(225種)は、設定日前営業日の終値です。日経平均株価(225種)は参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 設定日の基準価額は当初元本(1万口当たり10,000円)を表示していますが、設定時に1万口当たり募集手数料150円および手数料にかかる消費税相当額7円50銭を信託財産より支弁しましたので、設定日の運用資金は1万口当たり9,842円50銭です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額	基準価額		日経平均株価 (225種) (参考指数)		債 組 入 比	券 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期首) 2017年2月15日	円 銭 10,155	% —	% —	円 19,437.98	% —	% 99.4	
2月末	10,152	△0.0	△0.0	19,118.99	△ 1.6	99.4	
3月末	10,147	△0.1	△0.1	18,909.26	△ 2.7	99.3	
4月末	10,148	△0.1	△0.1	19,196.74	△ 1.2	99.2	
5月末	10,140	△0.1	△0.1	19,650.57	1.1	99.1	
6月末	10,140	△0.1	△0.1	20,033.43	3.1	99.0	
7月末	10,138	△0.2	△0.2	19,925.18	2.5	99.0	
8月末	10,140	△0.1	△0.1	19,646.24	1.1	98.9	
9月末	10,136	△0.2	△0.2	20,356.28	4.7	98.8	
10月末	10,130	△0.2	△0.2	22,011.61	13.2	98.7	
11月末	10,120	△0.3	△0.3	22,724.96	16.9	98.6	
12月末	10,096	△0.6	△0.6	22,764.94	17.1	98.5	
2018年1月末	10,090	△0.6	△0.6	23,098.29	18.8	98.5	
(償還時) 2018年2月15日	(償還価額) 10,153.34	△0.0	△0.0	21,464.98	10.4	—	

(注) 騰落率は期首比。

当ファンドの設定に伴い、決定した事項等は以下の通りです。

当初株価	10,788.34円 ※2011年2月18日、2011年2月21日、2011年2月22日における日経平均株価終値の平均値 (小数点以下第3位切捨て)											
分配額判定株価	9,709.50円 ※当初株価の90%の水準(小数点以下第3位切捨て)											
ファンドの信託報酬率	信託財産の元本総額に対して年率0.3456%(税抜0.32%) うち委託会社 年率0.2700%(税抜0.25%) うち販売会社 年率0.0432%(税抜0.04%) うち受託会社 年率0.0324%(税抜0.03%) ※当期末における消費税率は8%です。											
目標分配額 (1万口当たり、税引前)	<table border="1"> <tr> <th>高位の目標分配額</th> <th>低位の目標分配額</th> </tr> <tr> <td>各期 113円</td> <td>各期 98円</td> </tr> </table>	高位の目標分配額	低位の目標分配額	各期 113円	各期 98円	※目標分配額は、組入れたユーロ円建て債券の発行体が債務不履行や財務状況の悪化等に陥らず、当初予想通りの運用成果が得られた場合のものです。したがって、分配額を保証するものではありません。また分配方針に基づいて、収益分配を行う予定ですが、収益分配金の支払いを保証するものではありません。						
高位の目標分配額	低位の目標分配額											
各期 113円	各期 98円											
ユーロ円建て債券の発行体	パークレイズ・バンク・ピーエルシー ※債券の銘柄入替えを行う場合があります。	<table border="1"> <tr> <th>発行体格付</th> <th>設定日</th> <th>当期末</th> </tr> <tr> <td>スタンダード・アンド・プアーズ</td> <td>AA-</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>ムーディーズ</td> <td>Aa3</td> <td>A1</td> </tr> </table>	発行体格付	設定日	当期末	スタンダード・アンド・プアーズ	AA-	A	ムーディーズ	Aa3	A1	
発行体格付	設定日	当期末										
スタンダード・アンド・プアーズ	AA-	A										
ムーディーズ	Aa3	A1										

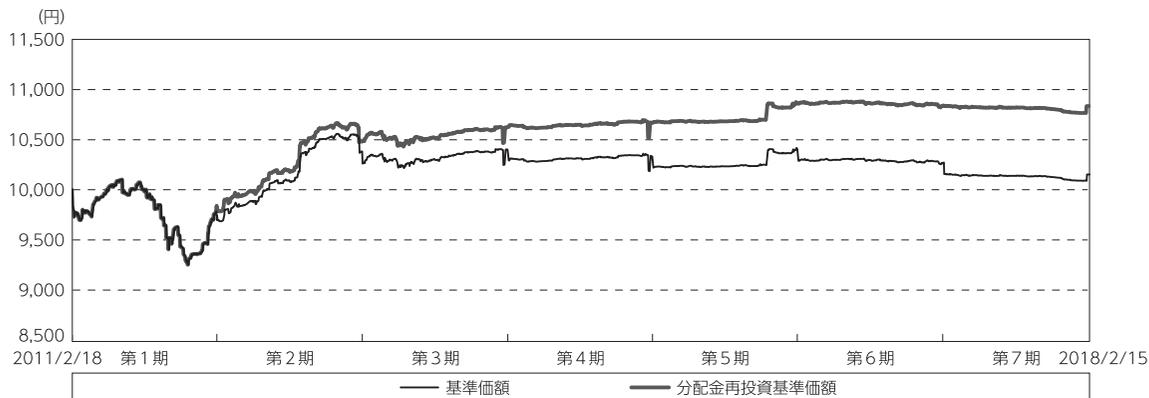
※ムーディーズ、スタンダード・アンド・プアーズとも金融商品取引法に基づいた信用格付業者の登録を受けておりません。

※ユーロ円建て債券の発行体の破綻や財務状況の悪化、および発行体の財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、ユーロ円建て債券の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となる場合があります。このような場合には、ファンドの基準価額が大幅に下落し、大きな損失を被ることになります。

設定以来の運用経過

設定以来の基準価額等の推移

(2011年2月18日～2018年2月15日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

(注) 分配金再投資基準価額は、設定日(2011年2月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

設定以来の投資環境

(2011年2月18日～2018年2月15日)

(債券市場)

国内の債券市場は、当ファンドの設定以来の期間において、利回りが低下しました。設定後は、世界的に景気減速懸念が高まる中、日米欧の中央銀行が金融緩和を実施したことから、長期債利回りが低下基調を辿りました。その後、米連邦準備制度理事会(FRB)議長が資産購入規模の縮小の可能性を示し、米長期債利回りが上昇した影響から、2013年5月にかけて長期債利回りは急上昇する場面も見られました。しかし、2014年に欧州中央銀行(ECB)がマイナス金利を導入したことに続き、2016年1月末には日銀がマイナス金利の導入を決定したことから、長期債利回りは低下基調を辿りました。その後、日銀は金融政策の「総括的な検証」を行うと表明し、金融政策の先行き不透明感が強まったことから、長期債利回りが上昇しました。9月下旬には、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入を決定したことを受けて、短期債利回りはマイナス幅が拡大し、長期債利回りの上昇に歯止めがかかりました。しかし11月以降は、米長期債利回りの上昇や日銀による国債買入れオペの減額等を背景に、短期・長期債利回りがともに上昇しました。ただその後は、日銀による金融政策の変更がないことを背景に、短期・長期債利回りがともに横這いとなりました。

(株式市場)

株式市場は、当ファンドの設定以来の期間において、日経平均株価が上昇しました。設定後は、東日本大震災や円高に加え、欧州債務問題を背景に、株価は軟調な推移となりました。しかし、2012年11月に衆議院が解散となり、新政権の経済対策や金融緩和への期待が高まったことに加え、2013年4月には日銀が「量的・質的金融緩和」を導入したことから、株価は急反発しました。2014年入り後は、新興国通貨の急落やウクライナ情勢の悪化に加え、中国経済の減速懸念を背景に、株価は調整局面が続きましたが、年央以降は、政府の成長戦略への期待や日銀による追加金融

緩和、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の資産配分見直しに伴う株式市場への資金流入により、株価は堅調に推移しました。2015年以降、ECBによる国債買入れを受けて欧米株が堅調に推移し、円安や企業業績の回復を背景に、株価は上昇傾向が続きました。年後半以降は、中国景気の減速懸念や世界的な株安の影響に加え、中東情勢の緊迫化、欧州金融機関に対する信用不安などを背景に、株価は大幅に下落しました。2016年11月中旬以降は、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利し、政策に対する期待から米国の株価が上昇し、円安や米金利上昇を背景に、株価は急上昇しました。その後も、企業業績の改善期待や米国の株高などを背景に、一段高となりました。2018年1月下旬以降は、米長期金利の急上昇や米国株の大幅な下落、円高進行を受けて、株価が急落しました。

（クレジット市場）

当ファンドの設定以来の期間において、パークレイズ・バンク・ピーエルシーの信用スプレッドは、縮小しました。ギリシャ問題に端を発した欧州金融機関に対する信用不安の高まりにより、2011年後半にかけて信用スプレッドは急拡大しました。2012年入り後は、欧州の債務不安の再燃から信用スプレッドは拡大する場面もありましたが、ECBによる積極的な金融緩和策や、欧米の堅調な株価動向、景気回復を背景に、信用スプレッドは縮小基調が継続しました。2015年央にかけて、ギリシャ債務協議の難航や中国経済の減速懸念に加え、米国の利上げ観測の高まりから、信用スプレッドは一時拡大しました。2016年以降は、世界的な株安が進行する中、銀行規制強化に伴う収益の悪化などが意識されるとともに、欧州金融機関に対する懸念が高まったことや、英国の欧州連合（EU）離脱の決定を受けた投資家心理の悪化の影響から、信用スプレッドが急拡大する場面も見られました。しかし、欧米の株価が堅調に推移したことや、欧州政治リスクの後退を背景に、信用スプレッドは再び縮小基調を辿りました。

設定以来の当ファンドのポートフォリオ

（2011年2月18日～2018年2月15日）

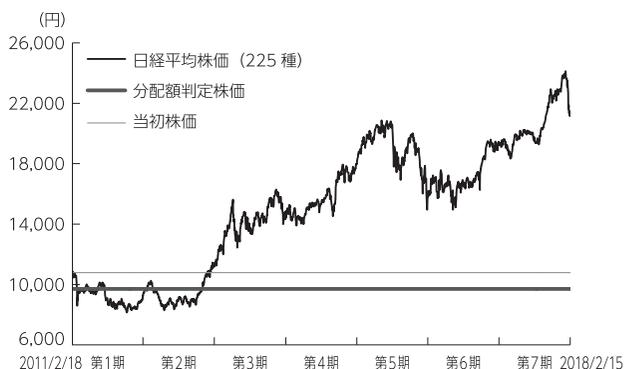
当ファンドの運用につきましては、投資方針に従い、設定日（2011年2月18日）に買い付けた、日経平均株価（225種）の水準に応じて利金額が決定される仕組みを持つパークレイズ・バンク・ピーエルシー発行のユーロ円建て債券を高位に保ちました。なお、ユーロ円建て債券は、2018年2月9日に満期償還となりました。

設定以来の当ファンドのベンチマークとの差異

（2011年2月18日～2018年2月15日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した設定以来の基準価額の騰落率は、参考指数としている日経平均株価（225種）の騰落率を下回りました。

設定以来の日経平均株価（225種）の推移



○1万口当たりの費用明細

(2017年2月16日～2018年2月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 35	% 0.341	(a) 信託報酬＝計算口当たり計理上元本×信託報酬率
(投 信 会 社)	(27)	(0.267)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(4)	(0.043)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.032)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.011	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.011)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	36	0.352	
期中の平均基準価額は、10,131円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年2月16日～2018年2月15日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	社債券（投資法人債券を含む）	千円 —	千円 — (514,000)

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分です。

(注) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2017年2月16日～2018年2月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年2月15日現在)

有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2018年2月15日現在)

項 目	債 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	523,823	100.0
投資信託財産総額	523,823	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2018年2月15日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	523,823,012
コール・ローン等	523,823,012
(B) 負債	926,225
未払信託報酬	897,190
未払利息	651
その他未払費用	28,384
(C) 純資産総額(A-B)	522,896,787
元本	515,000,000
償還差益金	7,896,787
(D) 受益権総口数	515,000,000口
1万口当たり償還価額(C/D)	10,153円34銭

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.015334円です。
(注) 当ファンドの設定元本額は515,000,000円、期首元本額は515,000,000円、期末における元本残存率は100.0%です。

○損益の状況 (2017年2月16日～2018年2月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	7,774,931
受取利息	7,646,505
その他収益金	131,070
支払利息	△ 2,644
(B) 有価証券売買損益	△ 6,013,800
売買益	8,224,000
売買損	△14,237,800
(C) 信託報酬等	△ 1,835,752
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 74,621
(E) 前期繰越損益金	7,971,408
償還差益金(D+E)	7,896,787

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2011年2月18日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2018年2月15日		資産総額	523,823,012円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	926,225円
受益権口数	515,000,000口	515,000,000口	一口	純資産総額	522,896,787円
元本額	515,000,000円	515,000,000円	－円	受益権口数	515,000,000口
				1万円当たり償還金	10,153円34銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	515,000,000円	499,544,473円	9,700円	98円	0.98%
第2期	515,000,000	528,440,141	10,261	113	1.13
第3期	515,000,000	529,994,182	10,291	113	1.13
第4期	515,000,000	526,268,973	10,219	113	1.13
第5期	515,000,000	529,930,566	10,290	113	1.13
第6期	515,000,000	522,971,408	10,155	113	1.13
信託期間中1万円当たり総収益金及び年平均収益率				816円34銭	1.1671%

○償還金のお知らせ

1万円当たり償還金	10,153円34銭
-----------	------------

〈お知らせ〉

該当事項はございません。